

株式会社 住まいず × 鹿児島県

株式会社 住まいずは、県産材で建築した複合商業施設「obama village」を中心に、来場者等に対する木材利用の普及活動や木育活動を通じて、県産材による住宅・非住宅の建築を促進し、森林資源の循環利用への意識醸成を図ることにより、SDGsの達成や2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するため、鹿児島県と協定を締結しました。

建築物等における県産材の利用促進に関する協定



obama village (霧島市 隼人町 小浜)

協定締結日：令和6年10月31日
有効期間：協定締結日から令和11年9月末まで
対象区域：鹿児島県

➤ 住まいずの木材利用の促進に関する構想

県産材で建築した複合商業施設「obama village」を中心に、来場者等に対する木材利用の普及活動等を通じて、県産材による住宅・非住宅の建築を促進し、SDGsの達成や2050年カーボンニュートラルの実現に貢献していく。

➤ 構想の達成に向けた取組の内容

- ・ かごしま木の家※を年間15棟以上建築
- ・ 非住宅建築物を10棟木造で建築(県産材使用量計200m³以上)
- ・ 各種メディアに対する県産材利用の情報発信
- ・ 木育イベントや視察受入れなど木材利用の普及活動を実施
- ・ 建築物への木材利用に関する研修会の開催

➤ 構想の達成のための鹿児島県による支援

- ・ 県産材の利用促進に関する施策の情報提供
- ・ 住まいずの取組を優良事例として積極的に広報

※かごしま木の家とは、かごしま緑の工務店が県内に住居用として建築する、かごしま材を10m³以上使用した木造の新築又は増改築の住宅